

# 平成 30 年度カナダ短期海外研修レポート



## 2日目 3月10日（日）アボッツフォードにて

昨日までは日本との時差は17時間でしたが、今日からサマータイムが開始され、時差は16時間になっています。そのため、2日目は起床後に時計をまず1時間進めることから始まっています。そんな2日目は生徒各自が、ホストファミリーと一日ともに過ごす日でした。

ホストファミリーと一緒に買い物に出かけたと連絡をくれた生徒もいましたが、きっと日本の文化との違いに驚いたことと思います。自動車で移動をした家庭が多かったと思いますが、右側車線から眺める車窓からの風景を不思議に感じたことでしょうか、赤信号でも自動車が来ていなければ、右折ならしてもいいというのは実際に体験して初めて分かることでした。また道路を見渡しても、自動販売機がほとんど見当たらないことも日本との違いだといえます。

アボッツフォードは元々ブルーベリーやクランベリーの栽培が盛んな地域です。町にはベリーのオブジェがあり、車窓からもそのような畑を多く見ることができました。近年は畑が住宅地に変わるなど、町が少しずつ変化してきているようです。雪も少し残っている町並みのため、栃木でいえば那須のような印象です。今日も晴れていましたが、気温は5度程度で、湖の表面は凍っている箇所もありました。

2日間を通して、多くの生徒がカナダ文化を強く感じているのは、食生活だと思います。特にカナダの夕食は早く、早い家庭だと夕方5時から食事が始まります。家庭によって多少の違いはありますが、日本のように夜8時や9時になってからの食事はないとのことでした。日本にいるときよりも時間がゆっくりと流れている感覚になります。その中で時差ぼけとの戦いがあったのではないのでしょうか。

昨日と異なり、今日1日は周りに日本語を話して理解してくれる人が居ない環境で多少なりとも不安になることがあったと思いますが、また明日からの活動を元気に行ってもらいたいと思っています。